

野愛の里 PROLOGUE



四国遍路を旅していた。野宿のある夜、鮮やかな夢を見た。とても美しい野辺…それを「野愛の里」と呼ぶようになった。

そこは、至福の「光」に守られた、静かな山里、人々は自然と共に暮らしている。

山々は勇壮にそびえ、四季折々の美に映える。広いなだらかな野辺をつたって緩やかな川が流れている。天空の陽ざしにみどりの樹々は照り、すずやかな風が吹き渡る。小鳥の声は行き交って、野の生き物たちが揺られては歌い出す。大地から様々な色彩の草花が芽生え、芳しい香りが野を巡り、自給自足の糧を紡いでいる。

すべての命ある者は循環し、楽しみと輝きの中で相調和する。愛しい想いたちが力強いエネルギーを生み出し、野辺に祝福をもたらしている。それは天地創造の一つの夢、やすらぎの中で夢の花は開き、旅人は自由の歌を謳歌する。絶えず新しい時がゆく。世間のわずらわしさから遠く離れ、山紫水明の里で暮らしている。



○秋の菜園から(2018)



オリーブは 緑の実から むらさきへ



ジャスミンの 白い花たち 野に香る



ローレルの 葉を噛んで見る 秋の空



もうすぐだ 赤くなるかな ミニトマト



いつのまに キンモクセイの 香る朝



行く秋に 石焼きイモが 食べれそう

【11月初旬】



5月に植えたミニトマト、
今も花が咲き、実りつ
づけている



紅はるか

安納芋

シルクスweet



自然栽培のサツマイモ(無農薬・無肥料)

5月初旬に、紅はるか、安納芋、シルクスweet、3種類の芋づるを植えて約6ヶ月、待ちに待った収穫。蒸すと、どの品種も柔らかくてとても甘く美味しかった。別に木箱の中に真砂土とバーク肥土をまぜて苗を植えてみたが、路地と同じように育ち収穫できた。良い作物づくりに土づくりが大切だと言われている。今後は「微生物農法」の研究や「原種」の保存に努めたいと思っている。

【12月下旬】

あれからキクイモとショウガを収穫した。北野の畑にはイノシシとサルが出没するので、作物を守るにはショウガとニンニクを植えたらいいらしい。



小夏の実がうす黄色に色づいてきた。

白いサザンカと紅色のツバキが咲いている。

オリーブの実が紫に成っている、誰か美味しい食べ方を教えてください。

○冬の菜園から(2019)

【1月下旬】



満月の夜は、菜園も植物たちも静かに揺らぐ。

水仙の花が咲きはじめた。玉竜かリュウノヒゲか小さな丸い実をつけて地上すれすれで輝いている。

【2月下旬】



去年から近くに住んでいるヒヨドリたちが、すぐそばまで寄ってくる。頭がバサバサである。

スズメたちが鳴きながら群れを成してやって来る。倉庫の上に止まり、大空を見つめているのか。

土を掘り起こしていると、セミの幼虫が出て来た。

<土づくり～微生物農法へチャレンジ>

1. 約4tの真砂土を入れ、バーク肥料(廃材由来のもの)を加え、液体カーボン資材(※若葉2号)を散布し、耕運機で何日か日をおいて耕した。
2. 雨が降り、土が幾分乾いた日に畝を立てて、有用微生物土壤改良材(※EM1)を散布。一応、種を植える圃場準備完了。
3. 約1月間このままにしておく。(土壤の状態を見て各資材を活用/有用微生物が住み、栄養分を含み、土の団粒化が進み水はけ水もちがいい土へ)

○化学肥料や農薬を一切使用しないで栽培したいので、植物が好む、より自然な土づくりが大事となる。

※若葉2号……光合成微生物とトウモロコシの澱粉を発酵菌に植え付けて発酵させた濃縮液。この液が土壤菌の栄養となり、土壤菌を増殖させ、有機物の分解を早め、堆肥化を加速度的に早める。土壤のpHの調整、土の活性化、悪玉菌を減少させる効果がある。(販売:フロンティア光栄株式会社)

※EM1……好気性と嫌気性の微生物(乳酸菌群、酵母群、光合成細菌群、糸状菌、放線菌)を天然材料で複合培養した液体。これらの種々の微生物の働きが有機物の処理、環境中の微生物の活性化を行う。(販売:株式会社EM研究所)



畝の右側に、トタンと防水シートで簡易池を造った。メダカと蛍を育ててみる予定である。



クヌギの原木8本に、約300個のシイタケ菌2種類を打ち込んだ。



金運が良くなるという!!クログナモチの赤い実。 やっぱり満月の日にクレソンが芽を出していた。



【3月下旬】



<種イモ類の定植> 3月上旬

○ジャガイモ (キタアカリ、男爵、アンデスの瞳)

○サツマイモ (昨年貯蔵しておいた種イモ・目出し用)

○やーこん ○あびおす ○きくいも

<種まき/すべて原種・固定種です>

3月の満月の前日、第1回種まきをしました。早く芽を出し元気に育て下さい。

○ベビーリーフ

○ラディシュ

○ホウレンソウ

○ニンジン

○レタス

○ダイコン

○コマツナ

○シュンギク

○ネギ

○ニラ

○キャベツ

○ショウガ (高知の友人にもらう)

★危険!!—ついに始まるのか遺伝子操作(組換えではないというが)食品の流通—

先日、テレビや新聞で、遺伝子(DNA)のゲノム編集をしたトマトやジャガイモなどの野菜やイネ、マダイなどの養殖魚が、この夏にも市場に流通する、というニュースが流れた。しかも国は、その安全性について審査する事はなく、販売者が国に届け出るだけでいいとしている。その専門部会で協議されたのだろうが、消費者センター代表の部会員の方が「疑問が残る、不安である」とインタビューに答えていた。これからその遺伝子操作をした食品を「ゲノム編集食品」と表示するかどうか検討に入るそうだ。／当然表示するべきだ! そんなの食べたくはない!! DNAの秘密探究を。



咲いたイチゴの花 (左が女峰、右は野イチゴ)



スズランの花盛り



タンポポの綿毛(種)



黄メダカ



青メダカ

